

川俣精機株式会社 サイトレポート情報	
所在地	福島県伊達郡川俣町大字鶴沢字笛田36-1
敷地面積	31,560m ² 、建家面積：10,194m ² 、緑化率26.0%
設立	1943年10月、従業員：210人（2011年3月現在）
主要製品	直流電動機、交流電動機、発電機、他
ISO14001認証取得	1999年9月、最新更新年月：2010年7月 (ISO認証番号：JSAE148)



ごあいさつ

川俣精機株式会社は、阿武隈山系沿いにある福島県伊達郡川俣町にあります。1943年に創立され、今年で68周年を迎えました。直流モータを主体とした回転機・制御器具類等を開発設計から製造・販売・サービスまで一貫した体制で事業展開をしています。また、環境保全活動にも従業員一丸となって取り組んでいます。



環境保全責任者 田村樹男

2010年度の環境の主な取り組み

- ☆ISO14001環境マネジメントシステム
1999年9月に認証取得、2010年7月に3-2-回維持審査終了
- ☆環境保全体制の充実
法令、条例等の順守。現場管理の強化
- ☆レイアウトによる環境整備
・3号建屋トタン壁から断熱効果壁への改造と水銀灯から省エネ蛍光灯への切替
・富田工場、八反田工場内作業スペース確保のためのレイアウト実施継続
- ☆環境調和型製品の取り組み
製品アセスメントに基づく改善4件、
- ☆地域との協調
こども科学館の取り組みその他、クリーン作戦、献血、近隣火災消火活動への功労賞受賞、公園の開放等

製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介

**‘10年度 環境調和型製品の例
大型PMモータの開発**

従来の直流電動機に対し、大型PMモータシリーズを開発中であり、軽量化及び効率UPが図れる。(例：220kW/500min⁻¹PMモータ)

- ・従来(直流電動機)**
1. 枠番(センターハイト): 400mm
 2. モータ全長: 1,770mm
 3. モータ質量: 2,500kg
 4. 効率: 85%



- ・開発(PMモータ)**
1. 枠番(センターハイト): 280mm
 2. モータ全長: 1,590mm
 2. モータ質量: 1,450kg
 4. 効率: 95.2%



- [設計ポイント]**
- ・全閉外旋他力ファンの冷却効率UPによる小形化
(鉄心中央部にダクトを設け内気循環方式採用)
 - ・ロータマグネット形状の最適設計(固定方法)
 - ・ロータ低慣性化(ロータ鉄心の風導穴形状)

環境コミュニケーションの紹介

- ☆近隣火災に対する初期消火活動に対する功労賞受賞
- ☆クリーン作戦の実施
- ☆中学・高校生職場体験学習の受入
- ☆愛の献血助け合い運動への参加
- ☆交通安全パレードへの参加
- ☆花見台公園の開放

川俣精機(株)環境保全基本方針

当社は、回転機を主体とする開発・製造・販売・サービスを通して社会に貢献することを目指します。そして、「かけがえのない地球環境」を、健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」との認識に立ち、東芝グループ環境ビジョンに基づき、環境活動を次の方針で推進します。

◆環境への取組みを経営の重要課題の一つとして位置付け、環境経営を推進します。

1. 経済と調和させた環境活動を通じ、環境マネジメントシステムの継続的な改善・向上を図ります。
2. 事業活動、製品、サービスに関わる環境側面について、環境影響を評価し、環境負荷の低減、汚染の防止などに関する環境目的および目標を設定して、環境活動を推進します。
3. 環境に関する法令、当社が同意したその他要求事項、および自主基準を遵守します。
4. 環境活動に全員で取り組み、東芝グループと一体となった環境活動を推進します。

◆製品の開発・設計段階において、次の環境配慮活動に取り組み、環境調和型の製品・情報の提供により社会に貢献します。

1. エネルギー変換効率の向上、エネルギー損失の低減、消費電力の低減等によるCO2排出量削減
2. 小型化、軽量化等による資源投入量の削減
3. モジュール化や解体性向上等による再使用・再利用の容易化
4. 特定化学物質の削減、代替化

◆事業プロセスにおいて、次の環境配慮活動を通じて社会に貢献します。

1. 生産設備等に使用する電気・化石燃料等の削減によるCO2の排出削減
2. 化学物質等の削減と、環境関連設備の改善等による環境負荷の低減
3. 発生低減と分別回収・リサイクルによる廃棄物削減
4. 製品環境負荷低減と環境性能情報提供のためのグリーン調達の推進
5. 製品廃棄時の適正処理のための製品環境情報提供

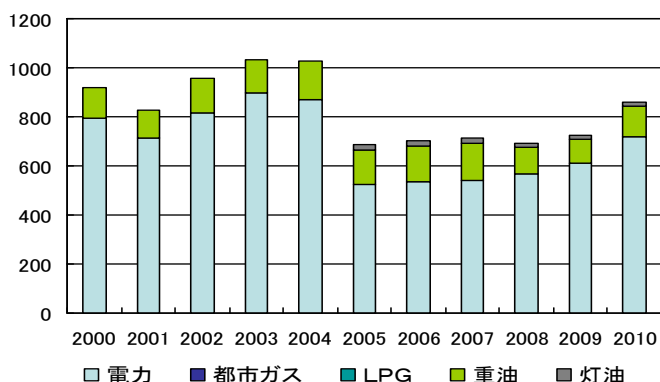
◆事業プロセスにおいて、次の環境活動を通じて社会に貢献します。

1. 阿武隈の美しい自然を守るため、地域社会との協調・連帯を図って活動します。
2. 相互理解の促進のために、積極的な情報開示とコミュニケーションを行います。

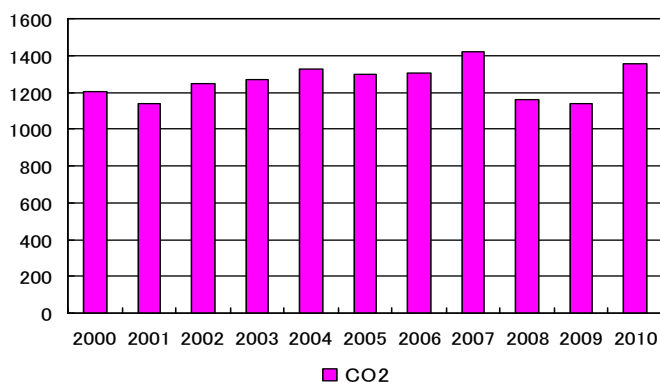
2011年4月1日
川俣精機株式会社
取締役社長 田村 樹 男

環境負荷データ

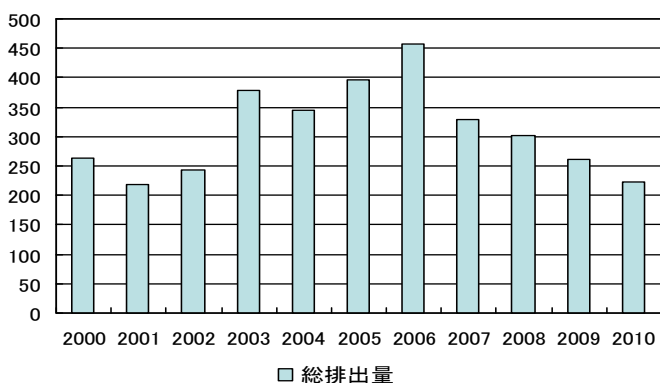
エネルギー使用量(単位:KL)



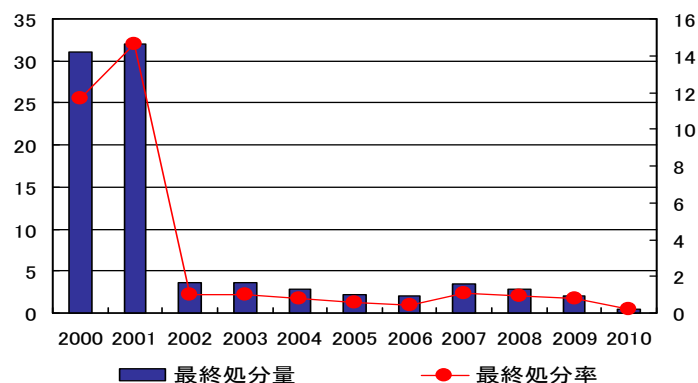
CO₂排出量(単位:トン-CO₂)



廃棄物総発生量(単位:トン)

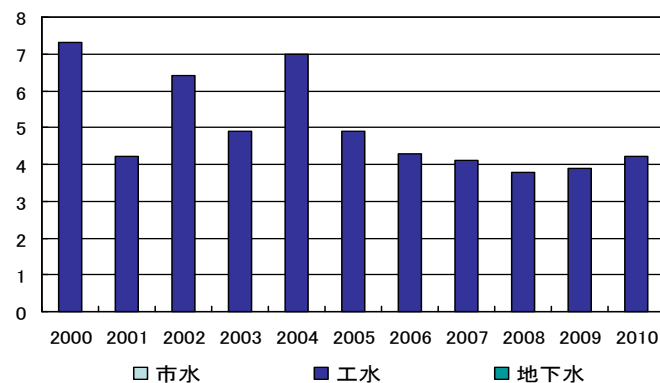


廃棄物最終処分量と最終処分率(単位:トン、%)

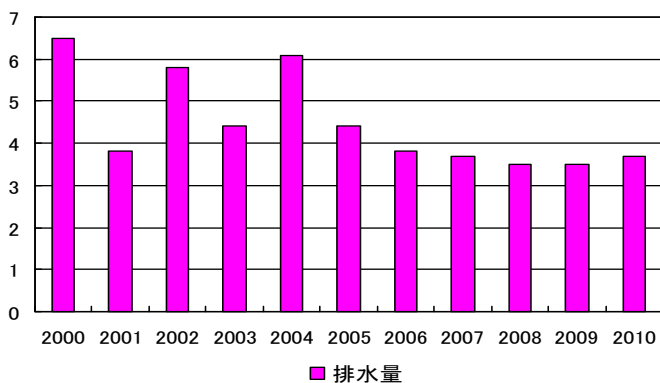


主な廃物名:酸、汚泥、金属、ガラス、プラスチック、油等

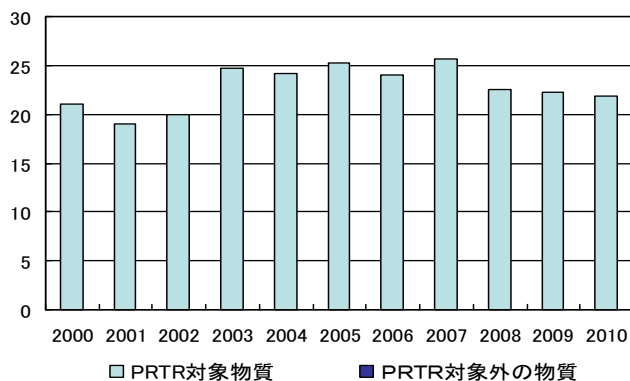
水の使用量(単位:千m³)



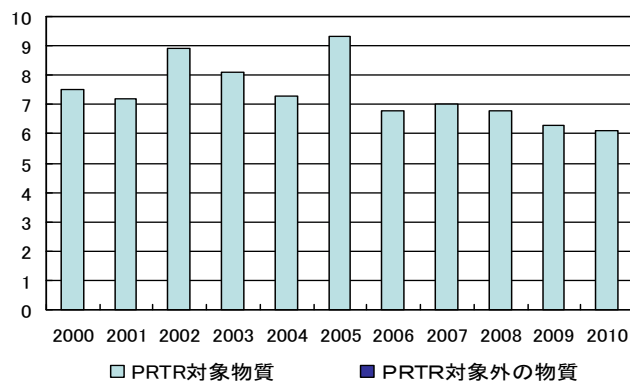
排水量(単位:千m³)



化学物質削減対象物質の取扱量(トン)



化学物質削減対象物質の排出量(トン)



主な化学物質:キシレン、トルエン

遵法管理状況

<大気測定結果> ユニットヒーター(A重油)X3台

	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
NOx(ppm)	180	180	49	年1回
SOx(Nm3/h)	2.3	2.3	0.1	年1回
ばいじん(mg/Nm3)	0.3	0.3	<0.01	年1回

<排水測定結果> 第2最終放流口、河川(広瀬川~阿武隈川)へ放流

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.8~8.6(協定値)	6.0~8.4	7.2	年1回
BOD(mg/ℓ)	160	150	11	年1回
COD(mg/ℓ)	160	150	11	年1回
SS(mg/ℓ)	150	150	9.2	年1回
窒素(mg/ℓ)	—	—	—	—
フッ素(mg/ℓ)	—	—	—	—

<騒音・振動測定結果> 特定施設 騒音:2号建屋(機械プレス)

	測定場所:時間	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
騒音(dB)	敷地境界:昼	60	60	56	年2回
	敷地境界:夜	50	50	46	年2回
振動(dB)	敷地境界:昼	—	—	—	
	敷地境界:夜	—	—	—	

<その他測定結果>

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	—	—	—	—
BOD(mg/ℓ)	—	—	—	—
SS(mg/ℓ)	—	—	—	—

<環境事故・指導指摘・苦情の有無>

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	なし